

# \* 12月号 \*

## あいのそのだよ

発行日：2017年12月1日（金） No.835

発行者：社会福祉法人 シオンの丘 愛の園保育園

主 題 よろこび  
 聖 句 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主が  
 お生まれになった。この方こそ主メシアである。 ルカ 2章11節  
 讃美歌 十字架わが力 イエス様が一番 いっしょにうたおう  
 うまやのイエスは おほしがひかる

「本当の喜びと幸せ」

人間はどのような時に喜び、また幸せを感じるのでしょうか。ある人は「人から愛されること」「人にほめられること」「人から必要とされること」そして、「ひとの役に立つこと」において、人は喜び、幸せを感じると述べています。この四つの事柄に共通することがあります。それはこの四つのどれもが「他者」を必要とするということです。子どもたちにとって最も身近な他者は「保護者」だということが出来ると思います。つまり、保護者がまず子どもたちを愛し、褒め、必要とし、彼らが他者のために出来ることを準備することが大事です。

子どもたちは大人が「教えたとおりに」成長するのではなく、大人が「やった通り」に成長します。よって、これらの四つのことを保護者が子どもたちに行なわなければ、子どもたちも必然的にこのことが出来ないまま成長することになります。彼らが本当の喜び、幸せを感じるのは彼らの物的欲求を満たすことではありません。保護者が、子どもたちを自分の所有物のように、扱うのではなく彼らを一人の他者として認めることによって彼らは本当の喜びや幸せを知るのです。

私も二人の子どもの保護者ですが、時に自分の子どもたちに自分が到達出来なかった目標を押し付けたい誘惑にかられる時があります。しかし、そんな時にカトリック教会の司祭であるヘンリ・ナウエンが「子どもとは、一番大事な客人だ。」と指摘していることを思い返します。大事な客人を適当に扱う人はいません。良きもてなし手は客人を歓待し、心を配り、そして、客人が帰る時には快く送り出すはずです。私たち保護者はこのようにいつも子どもたちの良きもてなし手でなければなりません。

子どもたちはいつか、保護者の手を離れ、旅立っていきます。彼らが本当の喜びと幸せを知っている人間として旅立つことができるように、彼らを愛し、褒め、必要な人間として認め、彼らの小さな力が他者の役に立っていることを伝えながら、共に成長していきたいものです。

日本バプテスト連盟豊前キリスト教会牧師、愛の園保育園理事 本山大輔

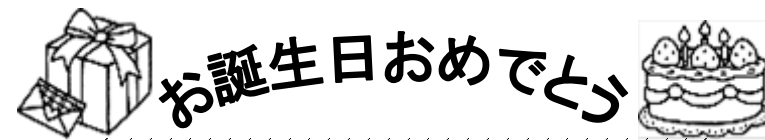


### 行事予定

- 2日（土） クリスマス礼拝・ページェント
- 4日（月） 歓迎礼拝
- 6日（水） 避難訓練
- 7日（木） ボールあそび教室  
（3・4・5歳児）
- 11日（月） ボールあそび教室  
（3・4・5歳児）
- 12日（火） こども礼拝
- 18日（月） ボールあそび教室  
（4・5歳児）
- 25日（月） クリスマス祝会・誕生会
- 29日（木）～1月3日（火）  
年末年始休業



きいろぐみ  
 にしむら あいきくん 4さい



2日	1名	3さい
10日	1名	4さい
28日	1名	6さい
30日	1名	3さい
30日	1名	5さい
31日	1名	4さい
31日	1名	4さい



## 子育て講習会



保護者の方から出された悩みについて、子どもの様子をふり返りながらアドバイスを頂きました。

## お知らせ

- クリスマス礼拝・ページェント（降誕劇）を12月2日（土）に行います。
- シオン山教会クリスマス礼拝が12月24日（日）午前10時30分～12時に行われます。礼拝後、クリスマス愛餐会もあります。食事代は無料ですので、是非ご参加ください。
- シオン山教会イブ讃美礼拝が12月24日（日）午後5時～6時30分に行われます。是非ご参加ください。